

## 発掘成果をふりかえって 2011

<http://www.kyoto-arc.or.jp>  
(財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 平安京右京三条一坊六町跡 中京区西ノ京小倉町ほか

佛教大学二条西キャンパス予定地で平安時代前期内宮跡が見つかった。藤原良相（813-867年）の西三条第「百花亭」があつたとされており、「三條院御殿萬坪」と記した墨書き土器のほかに輸入陶磁器なども出土している。



発掘調査の位置



2 植物園北遺跡 左京区下鴨南野々神町

縄文時代から中世にかけての集落遺跡である植物園北遺跡では、遺跡の南東部で2件の調査があり、古墳時代の堅穴住居跡が14棟見つかった。写真はそのうちの1棟で、一辺が7mを超える方型の大住居である。



3 勝持寺旧境内 西京区大原南春日町

勝持寺の南西で子院の石組跡を見つかった。15世紀後半に傾斜地を造成して築かれたもので、長さ30m・高さ2.4mの規模なものであった。当時の高い木工技術がうかがえる。



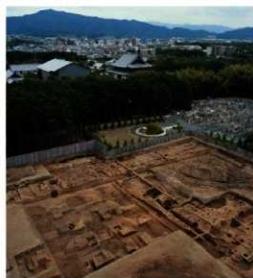
5 六波羅政府跡・六波羅蜜寺旧境内 東山区植惣町

元六波羅小学校内で、築研堀と呼ばれる防護用の堀を検出した。六波羅蜜寺旧境内の北西隅に当たるとみられる。また、調査区の東で、室町時代の門と門に取り付く築地や構なども見つかっている。



7 渡城跡 伏見区淀池上町ほか

京阪淀川高架事業にともなう第9次調査で、江戸時代の淀城に係する石垣や櫓・建物などが見つかった。写真手前が中櫓で、人形や泡沢の土型が多量に出土した。小型の窓跡（写真左）も見つかっており、当時の伏見人形製作を知る貴重な資料となった。



4 相国寺旧境内・上京遺跡 上京区相国寺門前町

同志社大学鳥丸キャンパス予定地で、鎌倉時代の礎や、室町時代の戦乱の焼け瓦で埋まつた構が見つかった。また、戦国時代の礎も検出された。



6 上京遺跡 上京区元賀齋寺通大宮東入寺今町

平安時代後期から鎌倉時代の土坑から白磁碗や青磁鉢などの輸入陶磁器がまとまって出土した。室町時代の土取穴から天目茶碗・茶入などが多量に出土している。



8 法性寺跡 東山区本町二十丁目ほか